

【ディプロマポリシー】(学位授与の方針)

建築学科では、建学の精神と教育の目的に即して、持続可能な社会を実現する未来志向の建築を設計・生産できる次のような建築家や建築技術者を育成することを目標としています。

1. 豊かな人間性と総合的なデザイン力を持ち、地域社会や地域環境に貢献できる建築専門家。  
(豊かな人間性と総合力のある技術者)
2. 国内外における建築技術の伝統を引継ぎ、発展させる、実践的な建築専門家。  
(実践力のある技術者)
3. 人間と環境の時代に向けて、確かなデザイン力とチャレンジ精神のある建築専門家。  
(チャレンジ精神のある技術者)

そして、本学科の学生が卒業までに身につけるべき具体的な知識・能力として、次の学習・教育到達目標を定め、これを達成するための授業科目を履修し、具体的に明示された評価方法に基づき厳格な成績評価を行い、所定の単位を修得した学生に卒業を認定し、学士(工学)の学位を授与します。

1. 豊かな人間性と総合力のある技術者として(A)～(D)の能力を身につける。  
(A)環境問題を理解し意匠設計ができる(意匠設計力)。  
(B)建築計画を理解し図面作成ができる(図面作成力)。  
(C)構造設計を理解し構造計画ができる(構造計画力)。  
(D)構造力学を理解し構造解析ができる(構造解析力)。
2. 実践力のある技術者として(E)～(G)の能力を身につける。  
(E)建築倫理がわかる(建築倫理理解力)。  
(F)生産管理がわかる(生産管理理解力)。  
(G)環境設備がわかる(環境設備理解力)。
3. チャレンジ精神のある技術者として(H)、(I)の能力を身につける。  
(H)チームで課題解決ができる(課題解決力)。  
(I)新しいことに挑戦できる(チャレンジ力)。

【ナンバリング付番ルール】

≪総合科目・外国語科目≫

<百の位> 1

<十の位> 開講年次を記入 開講年次 1～4 の場合、1番低いものに合致す。 ※1～4:1, 2～4:2

<一の位> 人間性・社会性科目群: 1 地域性・国際性科目群: 2 課題設定・問題解決科目群: 3 表現・スポーツ・健康活動科目群: 4 専門基礎・自然科学科目群 5 「～Ⅰ」:6 「～Ⅱ」:7 外国語共通(海外語学研修):8

≪専門科目≫

<百の位> 工学基礎科目: 2 専門科目: 3 卒研・卒研ゼミ: 5

<十の位> 1年:1 2年:2 3年:3 4年:4

<一の位> 前期科目: 1 後期科目: 2 \* 通年科目(卒業研究):1

科目区分	科目名	開講年次	単位	必修選択の別	学修・教育目標及び到達目標	1				2			3		ナンバリング				
						(A)	(B)	(C)	(D)	(E)	(F)	(G)	(H)	(I)	百の位	十の位	一の位	合計	
総合科目	哲学	1～3年次	2単位	選択科目	【学修・教育目標】自律の力を養う。 【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. 授業で紹介された哲学者の基本的な立場を理解できる。 2. その考え方に対する自分の意見を述べることができる。 3. 毎時間ごとに示されるキーワードをよりどころとして、自分は周囲の環境や人々そして自分自身をどのようにとらえているのかを再確認できる。					○					○	1	1	1	111
総合科目	心理学	1～3年次	2単位	選択科目	【学修・教育目標】心理学がとらえてきた「心」の仕組みや働きを理解する。 【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. 講義の中でとりあげた基礎概念を、実例を用いて説明する。 2. 日常の事象をこれらの基礎概念の実例として紹介する。					○					○	1	1	1	111

科目区分	科目名	開講年次	単位	必修選択の別	学修・教育目標及び到達目標	1				2			3		ナンバリング			
						(A)	(B)	(C)	(D)	(E)	(F)	(G)	(H)	(I)	百の位	十の位	一の位	合計
総合科目	日本国憲法	1～3年次	2単位	選択科目	【学修・教育目標】憲法の根底にある基本原理を理解することを通じて、人権感覚を練磨し、政治参加主体となるために必要な基礎的知識を得ることができる。 【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. 憲法に関する基礎的知識、概念を修得する。 2. 統治機構の運営上生じる憲法問題を正確に理解できる。 3. 重要な憲法裁判例の事実関係およびそこにおける憲法上の争点を把握したうえで、国家行為の合憲性について推論し、結論に至るまでの論理を説明できる。					○				○	1	1	1	111
総合科目	人権論	1～3年次	2単位	選択科目	【学修・教育目標】人権保障の根底にある価値理念を理解することを通じて、人権感覚、規範意識を獲得・練磨することができる。 【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. 人権保障に関する基礎的知識・概念、法理論、人権保障の根底にある価値理念を理解できる。 2. 実社会において生起する人権問題の内容・背景を正確に理解できる。 3. 人権保障の根底にある価値理念が個別具体的事案においてどのように実現されているか、または実現されるべきかを、対立する諸見解をふまえて説明できる。					○				○	1	1	1	111
総合科目	経済学	2～3年次	2単位	選択科目	【学修・教育目標】基本的な経済学の思考法を身につける。 【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. 経済学の基本は身近にあることを認識する。 2. ミクロ経済的な思考法を修得する。 3. 資産選択における判断基準および評価を身に付ける。					○				○	1	2	1	121
総合科目	政治基礎論	1～3年次	2単位	選択科目	【学修・教育目標】日本国憲法の統治構造の根底にある基本原理を理解することを通じて、政治参加主体となるために必要な基礎的知識を得ることができる。 【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. 日本国憲法とわが国の統治構造に関する基礎的知識・概念を理解できる。 2. わが国の統治構造の根底にある基本原理を理解し、この原理が具体的な統治構造にどのように反映されているかを把握できる。 3. 政治運営のなかで生じる憲法問題の内容・背景について、実例をあげつつ説明できる。					○				○	1	1	1	111
総合科目	教養特殊講義A	2～3年次	2単位	選択科目	【学修・教育目標】 【到達目標】  令和6年度不開講のためシラバスなし					○				○	1	2	1	121
総合科目	ことばと文化(ドイツ語と文化)	2～3年次	1単位	選択科目	【学修・教育目標】ドイツ事情、様々な文化を学びドイツという国を知ることを通じて、異文化理解を深める。ドイツ語のコミュニケーション力だけでなく読解力を身につける。 【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. ドイツの様々な文化について知識を深め、関心を高める。 2. 文化に関するドイツ語テキストを読むことによりドイツ語の読解力が向上する。					○				○	1	2	2	122
総合科目	ことばと文化(フランス語と文化)	2～3年次	1単位	選択科目	【学修・教育目標】国際的なコミュニケーション能力を身につけるため語学だけでなくそれを入り口とした文化的背景を知る。 【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. 辞書を用いて、平易なフランス語文を理解できる。 2. フランスおよびヨーロッパの文化、社会に対する知識を深める。					○				○	1	2	2	122



科目区分	科目名	開講年次	単位	必修選択の別	学修・教育目標及び到達目標	1				2			3		ナンバリング			
						(A)	(B)	(C)	(D)	(E)	(F)	(G)	(H)	(I)	百の位	十の位	一の位	合計
総合科目	キャリアデザイン	1～3年次	2単位	選択科目	【学修・教育目標】望ましい職業観を身につけるとともに、適切な進路選択を自律・自立的に行う能力を伸長する 【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. 自らの特性を理解し、それを進路に適切に関係づける。 2. 進路についての情報を主体的に探索する。 3. 自らの進路を自律・自立的に計画し決定しようとする姿勢・態度をもつ					○				○	1	1	3	113
総合科目	職業の理解	2～3年次	2単位	選択科目	【学修・教育目標】望ましい職業観を育成し、適切な進路選択を自立的に行う能力の伸長をはかる。 【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. 企業経営の仕組みを学び、多様な業界・職業と職務内容を知る。 2. 新規事業ビジネスプランや「チョイスゲーム」の導入により、グループ演習を通じて提案力、プレゼンテーション力、コミュニケーション能力を高める。 3. 職場や地域で活躍する上で必要となる社会人基礎力「考える力」「チームで働く力」「チームで踏み出す力」を身に付ける。					○				○	1	2	3	123
総合科目	生活と倫理	1～3年次	2単位	選択科目	【学修・教育目標】自律の力を養う。 【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. 授業で紹介された倫理的用語の基本的な意味を理解できる。 2. 身の回りの具体例を挙げながらそれを説明することができる。 3. 毎時間ごとに示されるキーワードをよりどころとして、自分は周囲の環境や人々そして自分自身をどのようにとらえているのかを再確認できる。					○				○	1	1	3	113
総合科目	社会行動論	2～3年次	2単位	選択科目	【学修・教育目標】日本の財政問題の概要を把握する 【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. 世界と日本の時事的な問題の所在について理解を深めることができる。 2. 社会経済問題に関する幅広い社会常識を身に付けることができる。 3. 専門分野の研究をより広い視野と発想をもって進めることができる。 4. 財政に関して日本がどのような問題を抱えているのかについて理解を深めることができる。 5. 財政に関して欧米がどのような問題を抱えているのかについて理解を深めることができる。 6. 財政問題の解決に関して日本と各国政府の政策的な対応を具体的に説明できるようになる					○				○	1	2	3	123
総合科目	エンジニアリング・デザイン	2～3年次	2単位	選択科目	【学修・教育目標】多様な知識や見識とそれらを使いこなす素養を要し、俯瞰的な視点から社会的ニーズを正確に捉えることができ、技術を実践的・実用的かつ安全に扱える者の育成。 【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. 社会からの厳しいニーズに対応できる論理的考察が可能な基礎的素養を獲得し、設計開発業務等において実践的かつ自立的・自律的に、社会で強く戦える技術者としての能力を培う。					○				○	1	2	3	123
総合科目	インターンシップ研修	2～3年次	2単位	選択科目	【学修・教育目標】企業の現場において実習・研修的な就業体験を行うことによって、独創的な技術やノウハウ等に触れながら実務能力を高める。 【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. 実習・研修的な就業体験により、技術者・職業人としての自覚を持ち、得られた知見を説明できる。					○				○	1	2	3	123
総合科目	教養ゼミナール	2～3年次	2単位	選択科目	【学修・教育目標】 【到達目標】  令和6年度不開講のためシラバスなし					○				○	1	2	3	123
総合科目	教養特殊講義C	2～3年次	2単位	選択科目	【学修・教育目標】オフィスソフトの操作を学び、大学生生活・社会で必要な情報能力を養成する。 【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. コンピュータの基本構成を説明できる。 2. コンピュータの基本的な操作方法を身につけることができる。 3. Wordの基本的・実践的な操作方法を身につけることができる。 4. Excelの基本的・実践的な操作方法を身につけることができる。 5. PowerPointの基本的・実践的な操作方法を身につけることができる。					○				○	1	2	3	123

科目区分	科目名	開講年次	単位	必修選択の別	学修・教育目標及び到達目標	1				2			3		ナンバリング			
						(A)	(B)	(C)	(D)	(E)	(F)	(G)	(H)	(I)	百の位	十の位	一の位	合計
総合科目	情報と職業	2～3年次	2単位	選択科目	【学修・教育目標】職業と情報の関わりを、職業世界の情報化の諸相とそれへの適応という側面から理解する。  【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1.情報社会における職業や労働のあり方について理解し、自らの職業選択に関連づける。 2.情報社会における職業選択のあり方について具体例をあげて解説する。					○				○	1	2	3	123
総合科目	近大ゼミ	1年次	2単位	必修科目	【学修・教育目標】 (H)チームで課題解決ができる(課題解決力) (I)新しいことに挑戦できる(チャレンジ力)  【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1.チャレンジ力を身につけることができる。 2.コミュニケーション力を身につけることができる。 3.プレゼンテーション力を身につけることができる。								◎	○	1	1	3	113
総合科目	データリテラシー入門	1年次	2単位	選択科目	【学修・教育目標】  【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. DSやAIに関する現状を理解している。 2. DSやAIに関する基本的な概念や方法を理解している。 3. データの正しい利用方法について理解している。 4. スプレッドシートの基本的な機能を使ってデータを操作することができる					○				○	1	1	3	113
総合科目	暮らしのなかの起業入門	1～3年次	2単位	選択科目	【学修・教育目標】  【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下について学び、起業と社会・経済とのかかわりについて理解できるようになる。 1. 起業や新事業創出の意味と必要性 2. 起業や新事業創出を実現するために求められる基本的な事項 3. 起業家の実践例とキャリア					○				○	1	1	3	113
総合科目	芸術論	2～3年次	2単位	選択科目	【学修・教育目標】西洋美術の歴史を通して芸術を学ぶと同時に、実際絵を描き美術館を訪れることで芸術的センスを磨く。  【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. 西洋美術の歴史を概説し、芸術の歴史を理解できる。 2. 授業で出題されるスケッチを描くことで、表現を身につけることができる。 3. 実際に美術館を訪れることで、芸術的センスを磨くことができる。					○				○	1	2	4	124
総合科目	工業デザイン	2～3年次	2単位	選択科目	【学修・教育目標】工業デザインの基礎を学び、工業製品や身の回りにあるものに対する理解を深める。あわせて、それを開発するときに留意する点を学び、開発力を高める。  【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. デザインの基本知識を習得し、説明することができる。 2. 種々の分野においてデザインされたモノの成り立ちを使用者側からの視点で学び、技術はデザインの発想に役立ち、デザインは新しい技術開発に資することを理解する					○				○	1	2	4	124
総合科目	生涯スポーツ I	1～3年次	1単位	選択科目	【学修・教育目標】チームスポーツの実践を通じて、生涯にわたる健康の保持増進に寄与する体力・技術および社会的スキルを養う。  【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. ソフトボールにおけるチームとしてのパフォーマンスに貢献できる。 2. ソフトボールにおける個人的な基礎的技術(審判含む)を実践することができる。 3. ソフトボールにおける基本的なルールを理解できる。					○				○	1	1	4	114

科目区分	科目名	開講年次	単位	必修選択の別	学修・教育目標及び到達目標	1				2			3		ナンバリング			
						(A)	(B)	(C)	(D)	(E)	(F)	(G)	(H)	(I)	百の位	十の位	一の位	合計
総合科目	生涯スポーツⅡ	1～3年次	1単位	選択科目	<p>【学修・教育目標】チームスポーツの実践を通じて、生涯にわたる健康の保持増進に寄与する体力・技術および社会的スキルを養う。</p> <p>【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。</p> <p>1. フットサルにおけるチームとしてのパフォーマンスに貢献できる。</p> <p>2. フットサルにおける基礎的技術を実践することができる。</p> <p>3. フットサルにおける基本的ルールを理解できる。</p>					○				○	1	1	4	114
総合科目	スポーツ概論	1～3年次	2単位	選択科目	<p>【学修・教育目標】健康・スポーツを科学的に理解する。</p> <p>【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。</p> <p>1. トレーニング・運動生理や健康に関する文献・諸理論を学ぶことにより、スポーツを体力科学的見地から理解することができる。</p> <p>2. スポーツ文化の歴史・社会的領域に関する文献・諸理論を学ぶことにより、スポーツを人文・社会科学的見地から理解することができる。</p> <p>3. 現代社会におけるスポーツの意味を理解し、人生における関わり方を考えることができる。</p>					○				○	1	1	4	114
総合科目	健康と安全	2～3年次	2単位	選択科目	<p>【学修・教育目標】心身ともに健康的な生活を営み、豊かな社会の構築のために自らの専門とする知識・技能を活用する態度を身に付ける。</p> <p>【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。</p> <p>1. 健康の概念を理解し、自らの生活習慣を見直すことをとおして、その保持・増進をはかる。</p> <p>2. 安全・安心な生活を送るための危険予知、安全保持、危険対処の方法を日常行動の中に取り入れる。</p>					○				○	1	2	4	124
総合科目	メンタルヘルス	2～3年次	2単位	選択科目	<p>【学修・教育目標】メンタルヘルスに関わる諸問題とその背景的要因、ならびにそれらへの対応について理解する。</p> <p>【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。</p> <p>1. メンタルヘルスに関わる諸問題とその背景的要因について概念的な説明する。</p> <p>2. メンタルヘルスについて、基本的な予防と治療の方法について解説をする。</p>					○				○	1	2	4	124
総合科目	余暇論	2～3年次	2単位	選択科目	<p>【学修・教育目標】余暇(レジャー)の本来の意味を学び、余暇の現状や諸問題を理解するとともに各自の余暇について考える。</p> <p>【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。</p> <p>1. 余暇(レジャー)の本来の意味や現代社会におけるレジャーの意義を理解できる。</p> <p>2. 余暇(レジャー)に関連する事項や用語の意味を理解し説明できる。</p> <p>2. 各自のレジャーの現状を分析するとともに、自分なりの将来計画を立案できる。</p>					○				○	1	2	4	124
総合科目	工学倫理	2～3年次	2単位	必修科目	<p>【学修・教育目標】将来社会に出て活躍が期待されている受講者が、倫理的問題を認識・発見し、それを探究・考察して、実践的に解決に導くための知識・能力・スキルの学修を目標とする。</p> <p>【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。</p> <p>1. 技術者倫理に係わる諸要素(専門職倫理規範、法制度、安全とリスク、情報リテラシー、デュアルユース技術/機微技術、異文化理解など)が説明できること</p> <p>2. 技術者と社会との係わりおよび技術者が負う社会的責任が説明できること</p> <p>3. 倫理的問題の解決方法が論理的に説明でき、それを適切に利活用できること</p> <p>4. グループワーク(対話)を通して、いくつかの有効な解決策を提案でき、論理的な表現で発表ができること</p> <p>5. 課題レポートを通して、論理的な小論文作成ができること。</p>					○				○	1	2	5	125

科目区分	科目名	開講年次	単位	必修選択の別	学修・教育目標及び到達目標	1				2			3		ナンバリング			
						(A)	(B)	(C)	(D)	(E)	(F)	(G)	(H)	(I)	百の位	十の位	一の位	合計
総合科目	地球の科学	1～3年次	2単位	選択科目	<p>【学修・教育目標】地球科学に関する地学についてのものごとの考え方を理解し、それらの基本的問題を解くことができる。</p> <p>【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地球科学に関する地学の一通りの知識を獲得できる。</li> <li>・地学用語の正しい理解と説明ができる。</li> <li>・地学の基本問題が正しく解け、説明できる。</li> </ul>					○				○	1	1	5	115
総合科目	宇宙の科学	1～3年次	2単位	選択科目	<p>【学修・教育目標】宇宙科学に関する地学についてのものごとの考え方を理解し、それらの基本的問題を解くことができる。</p> <p>【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宇宙科学に関する地学の一通りの知識を獲得できる。</li> <li>・宇宙科学に関する地学用語の正しい理解と説明ができる。</li> <li>・宇宙科学に関する地学の基本問題が正しく解け、説明できる。</li> </ul>					○				○	1	1	5	115
総合科目	生命の科学	1～3年次	2単位	選択科目	<p>【学修・教育目標】生物学の基礎を学び、身近な生命現象を理解する。</p> <p>【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 生物学の基礎を学ぶことで、身近な生命現象(からだの中で何が起きているのか、人はなぜ病気になるのか、最新の研究など)を知り、詳細に理解すること</li> <li>2. 生物学の基礎を学ぶことで、身近な生命現象について自ら学び、強い興味、関心を持つ。</li> </ol>					○				○	1	1	5	115
総合科目	情報処理基礎	1年次	1単位	必修科目	<p>【学修・教育目標】</p> <p>【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. コンピュータの構成などIT基礎知識と、インターネット、SNSのメリットデメリットを理解した上で、コンピュータの基本的な操作を習得し、適切に利用することができる。</li> <li>2. 情報セキュリティ、個人情報や著作権の取扱いなどの情報倫理の重要性を理解し、情報活用における基本的なルールを守ることができる。</li> <li>3. Microsoft Officeアプリケーション(Word・Excel・PowerPoint)の基本的な操作が修得でき、レポート作成、表作成における関数やグラフの活用、スライドによる資料作成を円滑に行うことができる。</li> <li>4. Googleアプリ(ドキュメント・スライド・スプレッドシート)の基本的な操作が修得でき、Microsoft Officeアプリケーションとの連携を理解することで、様々な環境において最適なアプリケーションを選択して活用することができる。</li> </ol>					○				○	1	1	5	115
総合科目	図学	1～3年次	2単位	選択科目	<p>【学修・教育目標】「図面の見方、読み方、並びに作成」を重点的に学習し、製造業における「経営幹部、スタッフ」又は工業系の「教職員」にとって必須のスキルである「図面の解読、作成」を習得する。</p> <p>【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「中小企業診断士」の試験に係わる当該分野をクリアする。</li> <li>2. 国家検定(厚労省)「製図技能士」に係わる当該分野をクリアする。</li> </ol>					○				○	1	1	5	115
総合科目	物質の科学	2～3年次	2単位	選択科目	<p>【学修・教育目標】物性物理を理解するためには、量子力学や熱統計力学の知見を必要とする。まずこの量子力学と熱統計物理学の基礎について学んだのち、物質の電氣的・磁氣的な基礎物性について学ぶ。またナノサイエンスに関する基礎についても学ぶ。</p> <p>【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 量子力学の基礎を理解する</li> <li>2. 熱力学・統計力学の基礎を理解する</li> <li>3. 様々な物質が持つ特徴的な基礎物性について学び、それらの仕組みを理解する</li> </ol>					○				○	1	2	5	125

科目区分	科目名	開講年次	単位	必修選択の別	学修・教育目標及び到達目標	1				2			3		ナンバリング				
						(A)	(B)	(C)	(D)	(E)	(F)	(G)	(H)	(I)	百の位	十の位	一の位	合計	
総合科目	工学特講	2～3年次	2単位	選択科目	<p>【学修・教育目標】異分野融合は、イノベーション創出の一つとされている。本講義では、異分野融合の一例として工学とバイオの融合分野に着目し、その学問や歴史、研究について学習する。</p> <p>【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。</p> <p>1.異分野融合について、考える力を身につける。</p> <p>2.工学系分野の学生がバイオ分野にも興味・関心を持つ。</p>					○				○	1	2	5	125	
総合科目	情報と社会	2～3年次	2単位	選択科目	<p>【学修・教育目標】情報通信技術の発展が社会生活にどのような変化をもたらしてきたかを理解し、今後の情報化社会において取り組むべき課題を提案することができる</p> <p>【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。</p> <p>1.情報と人間の関わりを事例を挙げながら解説する。</p> <p>2.社会生活における情報システムとネットワークの役割を具体例をあげて解説する。</p> <p>3.情報化社会における情報保護の意義と法的制度の役割を具体例をあげて解説する。</p>					○				○	1	2	5	125	
外国語科目	英語A I	1年次	1単位	必修科目	<p>【学修・教育目標】国際的に通用する基礎的なコミュニケーション能力を養成する。</p> <p>【到達目標】</p> <p>受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。</p> <p>1. 基礎的な語彙力を身に付ける。</p> <p>2. 基礎的な文法力を身に付ける。</p> <p>3. 継続的に自学自習する習慣を身に付ける</p>										○	1	1	6	116
外国語科目	英語A II	1年次	1単位	選択科目	<p>【学修・教育目標】国際的に通用する基礎的なコミュニケーション能力を養成する。</p> <p>【到達目標】</p> <p>受講者はこの授業を履修することによって、以下のことができるようになる。</p> <p>1. TOEICテストの出題形式に慣れ、パートごとに的確に対応できる。</p> <p>2. 設問や選択肢など提示された情報から、何を問われているのか推察できる。</p> <p>3. 基礎的な語彙力・文法力を身に付け、TOEICのPart 5 &amp; 6 問題に対応できる。</p> <p>4. 英語読解能力を身に付け、TOEICのPart 7 問題に対応できる。</p> <p>5. 継続的に自学自習する習慣を身に付ける。</p> <p>6. TOEIC300点を1つの指標とし、中級レベルの語彙が使用される文章において、文構造が理解でき、内容が推測できる。</p>									○	1	1	7	117	
外国語科目	英語B I	1年次	1単位	必修科目	<p>【学修・教育目標】国際的に通用する基礎的なコミュニケーション能力を育成する。</p> <p>【到達目標】</p> <p>受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。</p> <p>1. TOEICテストの問題形式に慣れ、的確に問題に対応できる。</p> <p>2. 設問や選択肢など提示された情報から、何を問われているのか推察できる。</p>										○	1	1	6	116
外国語科目	英語B II	1年次	1単位	選択科目	<p>【学修・教育目標】国際的に通用する基礎的なコミュニケーション能力を育成する。</p> <p>【到達目標】受講者はこの授業を履修することによって、以下のことができるようになる。</p> <p>1. TOEICテストの出題形式に慣れ、パートごとに的確に対応できる。</p> <p>2. 設問や選択肢など提示された情報から、何を問われているのか推察できる。</p> <p>3. 比較的ゆっくり読まれている英文を聞いて、全体的なトピックが把握できる。</p> <p>4. 比較的ゆっくり読まれている英文を聞いて必要な情報を聞き取り、平易な質問に答えることができる。</p> <p>5. 継続的に自学自習する習慣を身に付ける。</p> <p>6. TOEIC300点を1つの指標とし、情報の繰り返しや言い換えが中級レベルの語彙で使用されるときに文脈が理解できる。</p>									○	1	1	7	117	



科目区分	科目名	開講年次	単位	必修選択の別	学修・教育目標及び到達目標	1				2			3		ナンバリング				
						(A)	(B)	(C)	(D)	(E)	(F)	(G)	(H)	(I)	百の位	十の位	一の位	合計	
外国語科目	英語C I	2年次	1単位	選択科目	<b>【学修・教育目標】</b> 国際的に通用する基礎的なコミュニケーション能力を育成する。 <b>【到達目標】</b> 受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. TOEICリスニングで、全体的なトピックが把握できる。 2. TOEICリスニングで必要な情報を聞き取り、質問に答えることができる。 3. TOEICで必要な語彙が理解できる 4. 英語の文法を理解し、TOEICのPart 5&6の問題に対応できる。 5. 英語読解能力を身につけ、TOEICのPart7の問題に対応できる。 6. TOEICのスコアを英語運用能力定着の一つの指標とし、400点(または500点)に到達し得る英語運用能力を修得できるようになる。										○	1	2	6	126
外国語科目	英語C II	2年次	1単位	選択科目	<b>【学修・教育目標】</b> 国際的に通用する基礎的なコミュニケーション能力を育成する。 <b>【到達目標】</b> 受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. TOEICリスニングで、全体的なトピックが把握できる。 2. TOEICリスニングで必要な情報を聞き取り、質問に答えることができる。 3. TOEICで必要な語彙が理解できる 4. 英語の文法を理解し、TOEICのPart 5&6の問題に対応できる。 5. 英語読解能力を身につけ、TOEICのPart7の問題に対応できる。 6. TOEICのスコアを英語運用能力定着の一つの指標とし、500点(または600点)に到達し得る英語運用能力を修得できるようになる。										○	1	2	7	127
外国語科目	英語D I	2年次	1単位	選択科目	<b>【学修・教育目標】</b> 国際的に通用する最低限のコミュニケーション能力を育成する。 <b>【到達目標】</b> 受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. 英語学習に必要な学習態度を身につける 2. 基礎的な語彙力を身につける 3. 基礎的な文法力を身につける										○	1	2	6	126
外国語科目	英語D II	2年次	1単位	選択科目	<b>【学修・教育目標】</b> 国際的に通用する最低限のコミュニケーション能力を育成する。 <b>【到達目標】</b> 受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. 英語学習に必要な学習態度を身につける。 2. 基礎的な語彙力を身につける。 3. 基礎的な文法力を身につける。										○	1	2	7	127
外国語科目	英語応用 I	3年次	1単位	選択科目	<b>【学修・教育目標】</b> 使用テキストの重要な目的でもある、「全体的なエッセイの構造を考えながら掴む」という読解の技能を育成すること。(エッセイにおけるそれぞれのパラグラフが持っている役割を明確に理解し、論理的に読み進んでいき、全体の内容理解を深める。) <b>【到達目標】</b> 受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. 必要に応じて辞書を引きながら、新聞記事、雑誌記事、勉学に必要な専門書が正確に理解できる程度の力が身につくこと。 2. TOEIC 500点に到達し得る英語運用能力を修得できるようになる。										○	1	3	6	136
外国語科目	英語応用 II	3年次	1単位	選択科目	<b>【学修・教育目標】</b> 使用テキストの重要な目的でもある、「全体的なエッセイの構造を考えながら掴む」という読解の技能を育成すること。(エッセイにおけるそれぞれのパラグラフが持っている役割を明確に理解し、論理的に読み進んでいき、全体の内容理解を深める。) <b>【到達目標】</b> 受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. 必要に応じて辞書を引きながら、新聞記事、雑誌記事、勉学に必要な専門書が正確に理解できる程度の力が身につくこと。 2. TOEIC 500点に到達し得る英語運用能力を修得できるようになる。										○	1	3	7	137

科目区分	科目名	開講年次	単位	必修選択の別	学修・教育目標及び到達目標	1				2			3		ナンバリング				
						(A)	(B)	(C)	(D)	(E)	(F)	(G)	(H)	(I)	百の位	十の位	一の位	合計	
外国語科目	英会話基礎 I	2年次	1単位	選択科目	【学修・教育目標】国際的に通用する最低限のコミュニケーション能力を育成する。 【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. 異文化理解を含む実践的コミュニケーションのための英語会話能力を修得する。 2. 日常生活に最低限必要な会話パターンを修得した上で、英語でスムーズに自己表現できる能力を修得する										○	1	2	6	126
外国語科目	英会話基礎 II	2年次	1単位	選択科目	【学修・教育目標】国際的に通用する最低限のコミュニケーション能力を育成する。 【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. 異文化理解を含む実践的コミュニケーションのための英語会話能力を修得する。 2. 日常生活に最低限必要な会話パターンを修得した上で、英語でスムーズに自己表現できる能力を修得する										○	1	2	7	127
外国語科目	英会話応用 I	3年次	1単位	選択科目	【学修・教育目標】国際的に通用する基礎的なコミュニケーション能力を育てる。 【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. 英会話基礎で修得した日常生活レベルのコミュニケーション運用能力を発展させ、意思伝達にとどまらず論理的に相手を納得させられる発話レベルを修得できる。 2. ディベートやパブリックスピーチ能力を修得できる。										○	1	3	6	136
外国語科目	英会話応用 II	3年次	1単位	選択科目	【学修・教育目標】国際的に通用する基礎的なコミュニケーション能力を育てる。 【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. 英会話基礎で修得した日常生活レベルのコミュニケーション運用能力を発展させ、意思伝達にとどまらず論理的に相手を納得させられる発話レベルを修得できる。 2. ディベートやパブリックスピーチ能力を修得できる。										○	1	3	7	137
外国語科目	ドイツ語 I	1年次	1単位	選択科目	【学修・教育目標】文法の規則性に気付く。 【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. 教材のドイツ語文が正しい発音で読める。 2. 英語とドイツ語の文法構造が比較・検討できる。 3. 辞書の引き方、表記法が分かる。										○	1	1	6	116
外国語科目	ドイツ語 II	1年次	1単位	選択科目	【学修・教育目標】文法の規則性に気付く。 【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. 教材のドイツ語文が正しい発音で読める。 2. 英語とドイツ語の文法構造が比較・検討できる。 3. 挨拶など、日常会話における簡単な表現が言える。										○	1	1	7	117
外国語科目	フランス語 I	1年次	1単位	選択科目	【学修・教育目標】国際的に通用する基礎的なコミュニケーション能力を育成する。 【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. フランス語の基本的な読み方、発音を修得する。 2. 基本的な日常会話を身に付ける。 3. 実用フランス語技能検定試験5級相当の力を身に付ける。										○	1	1	6	116
外国語科目	フランス語 II	1年次	1単位	選択科目	【学修・教育目標】国際的に通用する基礎的なコミュニケーション能力を育成する。 【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. フランス語の基本的な読み方、発音を修得する。 2. 基本的な日常会話を身に付ける。 3. 実用フランス語技能検定試験5級までの範囲の文法・語彙を修得する。										○	1	1	7	117

科目区分	科目名	開講年次	単位	必修選択の別	学修・教育目標及び到達目標	1				2			3		ナンバリング							
						(A)	(B)	(C)	(D)	(E)	(F)	(G)	(H)	(I)	百の位	十の位	一の位	合計				
外国語科目	中国語 I	1年次	1単位	選択科目	<p>【学修・教育目標】中国文化の理解と基礎的なコミュニケーション能力を育成する。</p> <p>【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. テキストの発音篇における単語を正しい発音で読むことができる。 2. 簡体字の書き方を覚えることができる。 3. 物事を判断する表現ができるようになる。辞書の引き方を修得する。</p>									○	1	1	6	116				
外国語科目	中国語 II	1年次	1単位	選択科目	<p>【学修・教育目標】中国文化の理解と基礎的なコミュニケーション能力を育成する。</p> <p>【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. テキストの会話文が正しい発音で読むことができる。 2. 習った文型で簡単な文が作れ、簡単な自己紹介と挨拶ができるようになる</p>									○	1	1	7	117				
外国語科目	海外語学研修	1～4年次	2単位	選択科目	<p>【学修・教育目標】3～4週間の集中講義を受講することにより語学運用能力を向上させることができる。異文化体験を通して国際的感覚を身につけることができる。</p> <p>【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. 異文化を理解した上で国際的感覚を身につける。 2. 日常生活および社会生活で通用し得る実践的な語学力を身につけ、コミュニケーションがとれる ようになる。</p>									○	1	1	8	118				
専門科目	微分積分学 I	1年次	2単位	選択科目	<p>【学修・教育目標】初等関数の導関数を求める手法を修得する。また導関数の応用として、グラフの増減を調べたり、マクローリン展開を求めることができる。</p> <p>【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって以下のことができるようになる。 1. 積・商の微分公式を用いて導関数を求めることができる。 2. 初等関数の導関数を求めることができる。 3. 導関数を用いてグラフの概形が分る。</p>													○	2	1	1	211
専門科目	微分積分学 II	1年次	2単位	選択科目	<p>【学修・教育目標】初等関数の不定積分・定積分を求める手法を修得する。また定積分の応用として、面積・体積を求めたり曲線の長さを求めることができる。</p> <p>【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって以下のことができるようになる。 1. 初等関数の不定積分を求めることができる。 2. 初等関数の定積分を求めることができる。 3. 面積、体積、曲線の長さを求めることができる。</p>													○	2	1	2	212
専門科目	線形代数学 I	1年次	2単位	選択科目	<p>【学修・教育目標】ベクトルや行列に関する様々な演算を正確かつ迅速に行うことができる。更に、行列の応用として連立方程式を正確かつ迅速に解くことができる。</p> <p>【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって以下のことができるようになる。 1. ベクトルの基本的な計算ができる。 2. 空間の直線・平面の方程式を求めることができる。 3. 行列の基本的な計算ができる。 4. 行列式の計算ができる。</p>													○	2	1	1	211
専門科目	線形代数学 II	1年次	2単位	選択科目	<p>【学修・教育目標】2次・3次正方行列の固有値・固有ベクトルを求めることができる。また、それらの知識を具体的な問題に応用することができる。</p> <p>【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって以下のことができるようになる。 1. 行列の階数を求めることができる。 2. 消去法で連立1次方程式を解くことができる。 3. 固有値・固有ベクトルを求めることができる。 4. 行列の対角化ができる。</p>													○	2	1	2	212

科目区分	科目名	開講年次	単位	必修選択の別	学修・教育目標及び到達目標	1				2			3		ナンバリング											
						(A)	(B)	(C)	(D)	(E)	(F)	(G)	(H)	(I)	百の位	十の位	一の位	合計								
専門科目	建築物理学	1年次	2単位	選択科目	<p>【学修・教育目標】安全性思想と結びついた構造解析能力を身につける。 建築生産における管理プロセスの基礎的理解能力を身につける。 自然環境と人間生活の快適性に関する正しい課題認識能力を身につける。</p> <p>【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. あらゆる科学は実験科学であること、物理学の基本法則が普遍的であることを知っている。 2. 力学の基本法則：第1法則、第2法則、第3法則を説明できる。 3. 自由落下の運動方程式を書き下すことができ、一般解を求めることができる。 4. 力積、仕事、運動エネルギーの定義を説明できる。 5. 熱力学の基本法則を知っている。 6. 熱伝導率の定義を書き下すことができる。</p>				○								2	1	1	211						
専門科目	建築プログラミング	1年次	1単位	選択科目	<p>【学修・教育目標】環境設備がわかる。 構造力学を理解し構造解析ができる。</p> <p>【到達目標】受講者は、この授業を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. プログラミングの基本を理解できる。 2. ベクトル・マトリクスの演算ができる。 3. 連立1次方程式を解くプログラムの作成ができる。 4. 簡単なソフトウェアの作成ができる。</p>													○	○	2	1	2	212			
専門科目	建築図法	1年次	2単位	選択科目	<p>【学修・教育目標】建築計画を理解し図面作成ができる。</p> <p>【到達目標】 1. 図面から立体が想像できるようになり、アイソメ・透視投影図法の消点図法が理解できる。 2. 外観の陰影図法、室内の透視図法が理解できる。</p>													◎			3	1	1	311		
専門科目	造形演習	1年次	2単位	選択科目	<p>【学修・教育目標】建築計画を理解し図面作成ができる。</p> <p>【到達目標】受講者は、この授業を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. 造形に関する基礎知識を得ることができる。 2. 創造的素養を身につけることができる。 3. 自分の意思を物理的な形によって伝えることができる。 4. 自分の意思を物理的な形で表現する能力を育てることができる。</p>														◎			3	1	1	311	
専門科目	建築CAD・CG演習	3年次	2単位	選択科目	<p>【学修・教育目標】建築計画を理解し図面作成ができる。</p> <p>【到達目標】受講者は、この授業を履修することによって、以下のことができるようになる。 1) CAD/CGの基礎知識を得る。 2) CADによる簡単な図面を描画でき、建築基本設計図面を描画できる。 3) 3DCADによる簡単な建物のモデリングをすることができ、建築基本設計図面を描画できる。 4) 与えられたCAD/3DCADによる建築基本設計図面の課題を自ら描画できる。</p>														◎			3	3	2	332	
専門科目	建築基本製図	1年次	2単位	必修科目	<p>【学修・教育目標】建築計画を理解し図面作成ができる。</p> <p>【到達目標】受講者はこの授業を履修することによって以下のことができるようになる。 1. 図面作成の基本となる諸事項(線の種類、建築記号、製図文字など)が理解できる。 2. 正しい縮尺や寸法で美しい図面を描くことができる。 3. 自らの設計意図を図面で表現できる。</p>														◎			3	1	1	311	
専門科目	建築演習	1年次	2単位	必修科目	<p>【学修・教育目標】建築計画を理解し図面作成ができる。 チームで課題解決ができる。 新しいことに挑戦できる。</p> <p>【到達目標】受講者は、この授業を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. 建物の平面・断面・骨組みの実測図を作成できる。 2. RC造階段の実測図を作成できる。 3. 在来木造建築の仕組み、それらの部材名と標準的な寸法が確認できる。</p>														◎		◎	◎	3	1	2	312

科目区分	科目名	開講年次	単位	必修選択の別	学修・教育目標及び到達目標	1				2			3		ナンバリング					
						(A)	(B)	(C)	(D)	(E)	(F)	(G)	(H)	(I)	百の位	十の位	一の位	合計		
専門科目	建築設計製図	2年次	2単位	必修科目	【学修・教育目標】建築計画を理解し図面作成ができる。  【到達目標】 1.1級建築士製図(RC)及び2級建築士製図(木造)が理解出来る。 2.建築設計のプロセスが理解できる。 3.図面・模型を用いたプレゼンテーション技術を習得することができる。 4.自ら考えたコンセプトを図面や模型を用いて表現することができる。		◎										3	2	1	321
専門科目	木造住宅設計学	2年次	2単位	選択科目	【学修・教育目標】建築計画を理解し図面作成ができる。  【到達目標】受講者は、この授業を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. 木造建物の配置計画手法、各室の平面計画手法を理解できる。 2. 木造建物の床伏図、小屋伏図を作成することができる。 3. 木造建物の壁量計算ができる。		◎										3	2	1	321
専門科目	建築設計演習 I	2年次	2単位	必修科目	【学修・教育目標】環境問題を理解し意匠設計ができる。 建築計画を理解し図面作成ができる。 新しいことに挑戦できる。  【到達目標】受講者は、この授業を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. 木造住宅の平面図、立面図、断面図、模型などが適切に表現できる。 2. 小規模な鉄筋コンクリート造建築の平面図、立面図、断面図、模型などが適切に表現できる。	◎	◎										3	2	2	322
専門科目	建築設計演習 II	3年次	4単位	必修科目	【学修・教育目標】環境問題を理解し意匠設計ができる。 新しいことに挑戦できる。  【到達目標】受講者は、この授業を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. 美術館の計画・設計手法を学び、その平面図、断面図、模型などを適切に表現できる。 2. 集合住宅の計画・設計手法を学び、その平面図、断面図、模型などを適切に表現できる。	◎								◎			3	3	1	331
専門科目	建築設計演習 III	3年次	4単位	必修科目	【学修・教育目標】環境問題を理解し意匠設計ができる。 建築計画を理解し図面作成ができる。 新しいことに挑戦できる。  【到達目標】受講者は、この授業を履修することによって、以下のことができるようになる。 1.課題設計能力が身につく。 2.構成・表現力が身につく。 3.設計完成度が高くなる。 4.プレゼンテーション力が身につく。	◎								◎			3	3	2	332
専門科目	建築設計・集中演習 I	3年次	1単位	必修科目	【学修・教育目標】環境問題を理解し意匠設計ができる。 チームで課題解決ができる。 新しいことに挑戦できる。  【到達目標】受講者は、この授業を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. 集合住宅の種々の設計事例を知ることができる。 2. 設定したコンセプトを図面と模型で表現することができる。 3. グループで議論しながら、ひとつの設計案にまとめ上げることができる。	◎								◎	◎		3	3	1	331
専門科目	建築設計・集中演習 II	3年次	1単位	必修科目	【学修・教育目標】環境問題を理解し意匠設計ができる。 チームで課題解決ができる。 新しいことに挑戦できる。  【到達目標】受講者は、この授業を履修することによって、以下のことができるようになる。 1.課題設計能力が身につく。 2.設計完成度が高くなる。 3.国際性が身につく。 4.プレゼンテーション力が身につく。	◎								◎	◎		3	3	2	332

科目区分	科目名	開講年次	単位	必修選択の別	学修・教育目標及び到達目標	1				2			3		ナンバリング						
						(A)	(B)	(C)	(D)	(E)	(F)	(G)	(H)	(I)	百の位	十の位	一の位	合計			
専門科目	建築史Ⅰ	2年次	2単位	必修科目	【学修・教育目標】環境問題を理解し意匠設計ができる。  【到達目標】受講者は、この授業を履修することによって、以下のことができるようになる。 1.西洋の建築の歴史の概略を理解することができる。 2.世界史の社会背景と建築と都市に関して詳しく理解することができる。 3.世界の建築家のコンセプトを理解することができる。		◎										3	2	1	321	
専門科目	建築史Ⅱ	2年次	2単位	必修科目	【学修・教育目標】環境問題を理解し意匠設計ができる。  【到達目標】受講者は、この授業を履修することによって、以下のことができるようになる。 1.都市のコンテキストのなかで建築の成立を理解する 2.西洋建築の理論を理解する 3.設計課題、卒業研究などの課題の参考として基礎知識を習得する		◎										3	2	2	322	
専門科目	建築デザイン論	2年次	2単位	選択科目	【学修・教育目標】環境問題を理解し意匠設計ができる。  【到達目標】受講者は、この授業を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. 建築とは何か。ゴシック、古典主義からポストモダンに至る建築様式の変遷と背景にある思想の流れをたどり、考察することができる。 2. 建築は如何に知覚されるのか。鑑賞、建築、基本的事項、様式、物理的な環境、心理的な環境、経済、時間的物質を通じて学ぶことができる。 3. 近代建築、現代建築における建築意匠の思考及びデザイン潮流を理解することができる。 4. 1779年～1991年における建築意匠と思考の背景を、ビジュアルとテキストで読解することができる。		◎											3	2	2	322
専門科目	建築計画Ⅰ	2年次	2単位	必修科目	【学修・教育目標】建築計画を理解し図面作成ができる。  【到達目標】 1. 空間形態・人間の知覚と行動が理解できる。 2. 寸法と規模の計画・空間の性能が理解できる。 3. 計画の技法・外部空間の構成と配置計画が理解できる。			◎										3	2	1	321
専門科目	建築計画Ⅱ	2年次	2単位	必修科目	【学修・教育目標】建築計画を理解し図面作成ができる。  【到達目標】 1. 居住施設・学校教育施設の計画が理解できる。 2. 商業施設・医療施設の計画が理解できる。 3. 社会教育施設・高齢者施設の計画と細部計画が理解できる。			◎										3	2	2	322
専門科目	都市計画	3年次	2単位	選択科目	【学修・教育目標】建築計画を理解し図面作成ができる。 環境問題を理解し意匠設計ができる。  【到達目標】受講者は、この授業を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. 都市における各種の問題を発見する能力を育てることができる 2. 都市計画についての知識を深めることができる 3. 都市および周辺地域の本来の特徴・価値を見出す手法を学ぶことができる 4. その土地の特徴にもとづいた地域づくりおよび建築の提案力を養える		◎	◎										3	3	1	331
専門科目	居住環境学	1年次	2単位	必修科目	【学修・教育目標】環境設備がわかる。 環境問題を理解し意匠設計ができる。  【到達目標】受講者は、この授業を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. パッシブ設計理論の基本的な考え方を把握できる。 2. 様々なパッシブ設計事例を知ることができる。 3. 自らのオリジナルのパッシブ設計手法を考案できる。		◎						◎					3	1	2	312

科目区分	科目名	開講年次	単位	必修選択の別	学修・教育目標及び到達目標	1				2			3		ナンバリング						
						(A)	(B)	(C)	(D)	(E)	(F)	(G)	(H)	(I)	百の位	十の位	一の位	合計			
専門科目	建築環境Ⅰ・同演習	2年次	2単位	必修科目	<p>【学修・教育目標】環境設備がわかる。 環境問題を理解し意匠設計ができる。</p> <p>【到達目標】受講者は、この授業を履修することによって、以下のことができるようになる。</p> <p>1. 建築における熱伝導、熱対流、熱放射、熱貫流の計算ができる。 2. 自然室温の計算ができる。 3. 壁表面や内部における結露の判定ができる。 4. 快適性評価指標について理解できる。 5. 換気計算の基本を理解できる。</p>	◎												3	2	1	321
専門科目	建築環境Ⅱ・同演習	2年次	2単位	選択科目	<p>【学修・教育目標】環境設備がわかる。 環境問題を理解し意匠設計ができる。</p> <p>【到達目標】受講者は、この授業を履修することによって、以下のことができるようになる。</p> <p>1. 太陽位置の計算ができる。 2. 日影図、日影時間図の作成ができる。 3. 日照図表を利用した日照時間の検討ができる。 4. 自然照明と人工照明の基本を理解できる。 5. 建築音響と騒音防止の基本を理解できる。</p>	◎												3	2	2	322
専門科目	建築設備Ⅰ・同演習	3年次	2単位	必須科目	<p>【学修・教育目標】環境設備がわかる。</p> <p>【到達目標】受講者は、この授業を履修することによって、以下のことができるようになる。</p> <p>1. 各種空調方式の特徴を理解できる。 2. 空調負荷計算ができる。 3. 空気線図の使い方がわかる。 4. 主要な空調機器の仕組みを理解できる。 5. 空調配管・ダクトの計算ができる。</p>													3	3	1	331
専門科目	建築設備Ⅱ・同演習	3年次	2単位	選択科目	<p>【学修・教育目標】環境設備がわかる。</p> <p>【到達目標】受講者は、この授業を履修することによって、以下のことができるようになる。</p> <p>1. 各種給水・給湯・排水・通気方式の特徴を理解できる。 2. 給水管計算ができる。 3. 排水管・通気管計算ができる。 4. 消火設備の基本を理解できる。 5. 建築電気設備の概要を理解できる。</p>													3	3	2	332
専門科目	静定力学・同演習	1年次	2単位	必修科目	<p>【学修・教育目標】構造力学を理解し構造解析ができる。 構造設計を理解し構造計画ができる。</p> <p>【到達目標】受講者は、この授業を履修することによって、以下のことができるようになる。</p> <p>1. 力および力の釣り合い式の意味が理解でき、示力図、連力図を作成できる。 2. 力の釣り合い式を用いて、静定はり・ラーメンの反力を求めることができる。 3. 力の釣り合い式を用いて、静定はり・ラーメンの応力を求め、応力図を作成することができる。 4. 力の釣り合い式を用いて、静定トラスの応力を求めることができる。</p>			◎	◎									3	1	1	311
専門科目	材料力学・同演習	1年次	2単位	必修科目	<p>【学修・教育目標】構造力学を理解し構造解析ができる。 構造設計を理解し構造計画ができる。</p> <p>【到達目標】受講者は、この授業を履修することによって、以下のことができるようになる。</p> <p>1. 応力、応力度、歪度(変形)、変位の関係が理解でき、応力度、歪度、変位等の計算ができる。 2. 断面の図心、断面2次モーメント、断面の主軸、主断面2次モーメントが計算できる。 3. 断面に生じる最大応力度を計算でき、許容応力度との比較により安全性を検討できる。 4. 座屈荷重および座屈応力度を計算できる。</p>			◎	◎									3	1	2	312

科目区分	科目名	開講年次	単位	必修選択の別	学修・教育目標及び到達目標	1				2			3		ナンバリング				
						(A)	(B)	(C)	(D)	(E)	(F)	(G)	(H)	(I)	百の位	十の位	一の位	合計	
専門科目	不静定力学Ⅰ・同演習	2年次	2単位	選択科目	<p>【学修・教育目標】構造力学を理解し構造解析ができる。</p> <p>【到達目標】受講者は、この授業を履修することによって、以下のことができるようになる。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 弾性曲線式を用いて静定はりの変位を求めることができる。</li> <li>2. モールの定理を用いて静定はりの変位を求めることができる。</li> <li>3. 仮想仕事法を用いて静定骨組(ラーメン・トラス)の変位を求めることができる。</li> <li>4. 仮想仕事法を用いて不静定骨組の曲げモーメントを求めることができる。</li> <li>5. 仮想仕事法を用いて合成骨組の曲げモーメントを求めることができる。</li> </ol>				◎							3	2	1	321
専門科目	不静定力学Ⅱ・同演習	2年次	2単位	必須科目	<p>【学修・教育目標】構造力学を理解し構造解析ができる。</p> <p>【到達目標】受講者は、この授業を履修することによって、以下のことができるようになる。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. たわみ角法により、不静定ラーメンの曲げモーメントを求めることができる。</li> <li>2. マトリクス法により、不静定ラーメンの曲げモーメントを求めることができる。</li> <li>3. 固定モーメント法により、鉛直荷重に対する不静定ラーメンの曲げモーメントを計算できる。</li> <li>4. D値法により、水平荷重(地震荷重)に対する不静定ラーメンの曲げモーメントを計算できる。</li> <li>5. 仮想仕事法により、不静定ラーメンの崩壊荷重(保有水平耐力)を求めることができる。</li> </ol>				◎						3	2	2	322	
専門科目	構造演習	2年次	2単位	必修科目	<p>【学修・教育目標】構造設計を理解し構造計画ができる。 構造力学を理解し構造解析ができる。 チームで課題解決ができる。 新しいことに挑戦できる。</p> <p>【到達目標】受講者は、この授業を履修することによって、以下のことができるようになる。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. トラス、アーチ、シェル、膜構造やラーメン、テンション、折板構造などのしくみが理解できる。</li> <li>2. Excellによる構造解析ソフトを利用して、骨組構造の応力計算および簡易的な耐力計算ができる。</li> <li>3. チームで与えられた課題に取り組み、設計・制作した作品についてのプレゼンができる。</li> </ol>			◎	◎			◎	◎	3	2	1	321		
専門科目	構造設計Ⅰ・同演習	2年次	2単位	必修科目	<p>【学修・教育目標】構造力学を理解し構造解析ができる。 構造設計を理解し構造計画ができる。</p> <p>【到達目標】受講者は、この授業を履修することによって、以下のことができるようになる。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 鉛直荷重、風圧力、地震力および組み合わせ荷重の算定が理解できる。</li> <li>2. 耐震設計の基本的概念および構造計画の基本が理解できる。</li> <li>3. 鉄筋コンクリート構造の基本と部材設計の基本が理解できる。</li> <li>4. 鋼構造の基本と接合部設計および座屈設計の基本が理解できる。</li> </ol>			◎	◎					3	2	2	322		
専門科目	構造設計Ⅱ・同演習	3年次	2単位	選択科目	<p>【学修・教育目標】構造設計を理解し構造計画ができる。</p> <p>【到達目標】受講者は、この授業を履修することによって、以下のことができるようになる。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 許容応力度設計法による鉄筋コンクリート構造部材と鋼構造部材の、断面設計や接合部設計の仕組みが理解できる。</li> <li>2) 簡単な部材や接合部を実際に構造設計する能力が身につく。</li> <li>3) 鉄筋コンクリート構造と鋼構造の部材等の名称や建方の仕組みが身につく。</li> <li>4) 鉄筋コンクリート構造と鋼構造の標準的なディテールの感覚が身につく。</li> </ol>			◎						3	3	1	331		
専門科目	構造設計Ⅲ	3年次	2単位	選択科目	<p>【学修・教育目標】構造力学を理解し構造解析ができる。 構造設計を理解し構造計画ができる。</p> <p>【到達目標】受講者は、この授業を履修することによって、以下のことができるようになる。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 耐震・制震・免震の違いを説明できる。</li> <li>2. 許容応力度等設計法と限界耐力計算法の違いを説明できる。</li> <li>3. 構造設計の全体の流れを理解できる。</li> <li>4. 鉄筋コンクリート構造、鋼構造の構造計画ができる。</li> </ol>			◎	◎					3	3	2	332		



科目区分	科目名	開講年次	単位	必修選択の別	学修・教育目標及び到達目標	1				2			3		ナンバリング				
						(A)	(B)	(C)	(D)	(E)	(F)	(G)	(H)	(I)	百の位	十の位	一の位	合計	
専門科目	建築地盤工学	3年次	2単位	選択科目	<p>【学修・教育目標】構造設計を理解し構造計画ができる。</p> <p>【到達目標】受講者は、この授業を履修することによって、以下のことができるようになる。</p> <p>1. 地盤について、地形の成り立ちと地盤の良否の関係、地盤に関する災害等が理解できる。</p> <p>2. 地盤を構成する土の物理的性質、砂地盤の液状化のしくみ、地盤改良の方法等が理解できる。</p> <p>3. 直接基礎の設計概要を理解し、地盤の支持力計算および沈下量計算ができる。</p> <p>4. 杭基礎の設計概要が理解できる。</p>			◎			◎					3	3	2	332
専門科目	建築材料	1年次	2単位	必修科目	<p>【学修・教育目標】生産管理がわかる。</p> <p>構造設計を理解し構造計画ができる。</p> <p>環境問題を理解し意匠設計ができる。</p> <p>【到達目標】受講者は、この授業を履修することによって、以下のことができるようになる。</p> <p>1. 木材の基本的な特徴と辺材・心材・形成層・年輪等の木材の組織構成がわかる。</p> <p>2. 木材の性能を支配する要因と各種の欠点(節・割れ)が木材の品質を規定する等級やJAS規格の現状を理解できる。</p> <p>3. 木材の強度に影響を及ぼす各種要因(含水率・加力方向・比重等)と強度特性の関係を理解できる。</p> <p>4. セメントの原料と製造方法やセメント化学である水和反応・凝結・硬化作用等を理解できる。</p> <p>5. コンクリートの強度特性(水セメント比・応力-ひずみ曲線・ヤング係数等)の基礎が理解できる。</p> <p>6. 鉄鋼の基本的な特徴・変遷と圧延工程・結晶構造等の鉄鋼の組織構成がわかる。</p> <p>7. 鉄鋼の持つ応力-ひずみ関係を理解し、熱処理・腐食問題と炭素含有量や熱的挙動によって変化する一般的な性質を理解できる。</p>			◎			◎					3	1	2	312
専門科目	建築構法	1年次	2単位	選択科目	<p>【学修・教育目標】構造設計を理解し構造計画ができる。</p> <p>構造計画を理解し図面作成ができる。</p> <p>生産管理がわかる。</p> <p>【到達目標】受講者は、この授業を履修することによって、以下のことができるようになる。</p> <p>1.各部位の名称と役割を説明できる。</p> <p>2.建物を構成する部位・部材の知識と構工法とのつながりが理解できる。</p> <p>3.木質構造、鉄筋コンクリート構造、鋼構造など各種構造のしくみが理解できる。</p>		◎	◎			◎				3	1	2	312	
専門科目	建築施工	3年次	2単位	必修科目	<p>【学修・教育目標】生産管理がわかる。</p> <p>建築倫理がわかる。</p> <p>【到達目標】受講者は、この授業を履修することによって、以下のことができるようになる。</p> <p>1.将来専門技術者となる場合に必要な建築施工の概略について理解できる。</p> <p>2.建築が抱える今日的課題を建物づくりの立場から理解できる。</p> <p>3.工事の準備から、土工事、地業工事、躯体工事、仕上げ工事までの建築施工の概要が理解できる。</p>						◎	◎				3	3	1	331
専門科目	建築生産	3年次	2単位	選択科目	<p>【学修・教育目標】生産管理がわかる。</p> <p>建築倫理がわかる。</p> <p>【到達目標】受講者は、この授業を履修することによって、以下のことができるようになる。</p> <p>1. 建設業法の基礎知識が理解できる。</p> <p>2. 発注、入札、請負契約に関する基礎知識が理解できる。</p> <p>3. 建築生産における施工管理技術について理解できる。</p> <p>4. 建築施工完了後の維持保全や診断技術、補修補強工事などの建築技術を理解できる。</p>						◎	◎			3	3	2	332	
専門科目	色彩・照明論	2年次	2単位	選択科目	<p>【学修・教育目標】環境問題を理解し意匠設計ができる。</p> <p>環境設備がわかる。</p> <p>【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。</p> <p>1.「色と光」の使い方のバリエーションや空間の実例を知ること目標としている。</p>	○								○		3	2	1	321

科目区分	科目名	開講年次	単位	必修選択の別	学修・教育目標及び到達目標	1				2			3		ナンバリング					
						(A)	(B)	(C)	(D)	(E)	(F)	(G)	(H)	(I)	百の位	十の位	一の位	合計		
専門科目	インテリアエレメント	3年次	2単位	選択科目	【学修・教育目標】環境問題を理解し意匠設計ができる。  【到達目標】受講者はこの科目を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. 床材、壁・天井材について、素材性を知りそれらを使い分ける能力を得る。 2. 窓まわり、照明器具・照明計画、建具、家具、設備についての知識を得る。	○											3	3	1	331
専門科目	建築概論	1年次	2単位	必修科目	【学修・教育目標】チャレンジ精神を持つ。 建築倫理がわかる。 環境問題がわかる。  【到達目標】受講者は、この授業を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. 卒業までに身につけるべき知識・能力を理解し、自分の目標とする技術者像を構築できる。 2. 建築の魅力、デザインと構造、建築の構成要素、建築に関する職業について理解できる。 3. 建築技術者として身につけるべき技術者倫理を理解できる。	◎				◎							3	1	1	311
専門科目	建築法規	2年次	2単位	必修科目	【学修・教育目標】建築倫理がわかる。 環境問題を理解し意匠設計ができる。  【到達目標】受講者は、この授業を履修することによって、以下のことができるようになる。 1) 建築基準法についての基礎知識を得ることができる。 2) 建築設計に必要な諸量を計算することができる。 3) 集団規定に必要な諸量を計算することができる。 4) 関連法規等の概略に関する基礎知識を得ることができる。	◎				◎							3	2	2	322
専門科目	職業観と倫理	3年次	2単位	必修科目	【学修・教育目標】建築倫理がわかる。  【到達目標】受講者は、この授業を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. 建築関連の職業について理解できる。 2. 職業観を持ち、やってみたい仕事を見つけることができる。 3. 建築関連の仕事における技術者のあるべき姿がわかる。 4. 技術者倫理の重要性がわかる。					◎							3	3	2	332
専門科目	建築実験	3年次	2単位	必修科目	【学修・教育目標】生産管理がわかる。 環境設備がわかる。 構造設計を理解し構造計画がわかる。 チームで課題解決ができる。  【到達目標】受講者は、この授業を履修することによって、以下のことができるようになる。 1.コンクリート、木材、鋼材の材料強度特性が理解できる。 2.鉄筋コンクリート構造におけるコンクリートの材料強度および部材性能が理解できる。 3.建築空間における室内温熱環境、CO2濃度、昼光率が理解できる。			◎		◎	◎	◎					3	3	1	331
専門科目	建築見学演習	3年次	2単位	必修科目	【学修・教育目標】  【到達目標】  令和6年度不開講のためシラバスなし												3	3	2	332

科目区分	科目名	開講年次	単位	必修選択の別	学修・教育目標及び到達目標	1				2			3		ナンバリング			
						(A)	(B)	(C)	(D)	(E)	(F)	(G)	(H)	(I)	百の位	十の位	一の位	合計
専門科目	卒業研究ゼミナール	3年次	1単位	必修科目	<p>【学修・教育目標】建築倫理がわかる。 新しいことに挑戦できる。</p> <p>【到達目標】受講者は、この授業を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. 卒業研究および将来の職業に必要な基礎的な知識を修得できる。 2. 卒業研究着手に必要な知識、能力等を理解できる。</p>					○				◎	5	3	2	532
専門科目	卒業研究	4年次	6単位	必修科目	<p>【学修・教育目標】環境問題を理解し意匠設計ができる。 構造力学を理解し構造解析ができる。 チームで課題解決ができる。 新しいことに挑戦できる。</p> <p>【到達目標】受講者は、この授業を履修することによって、以下のことができるようになる。 1. 自主的、継続的に学習する能力を身につけることができる。 2. チームで勉強や課題に取り組む能力を身につけることができる。 3. 課題設定能力、課題解決能力を身につけることができる。 4. 論文、概要、設計図面・模型、制作図面・模型等を期限までに完成させることができる。 5. まとめた論文、設計図面・模型、制作図面・模型について発表(説明)することができる。</p>	◎	○	◎	○	○	○	○	◎	◎	5	4	1	541